

無電柱化の低コスト手法

出展者名：

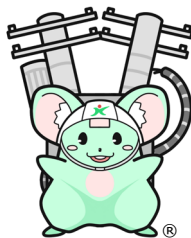


株式会社 近代設計

道路の無電柱化は、「防災」、「安全・快適」、「景観」の観点より整備が進められていますが、整備コストが高いことが課題の一つとなっています。

当社では、低コスト化に向け以下の低コスト手法で検討を進めています。

- ①浅層埋設方式
- ②小型ボックス活用方式
- ③直接埋設方式



ム電チュー君



整備前

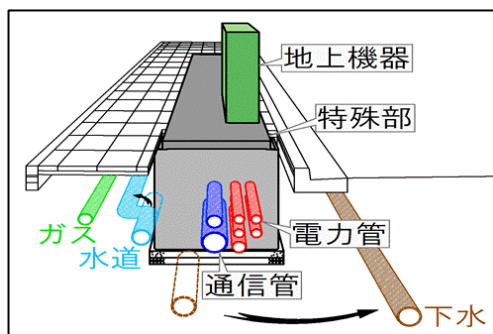


整備後

当社実績：京都市八坂通り

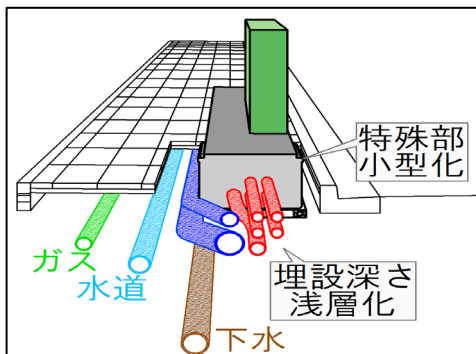
従来の無電柱化手法

○構造や断面が大きい
○支障物の移設が多発 → **高コスト**



低コスト3手法

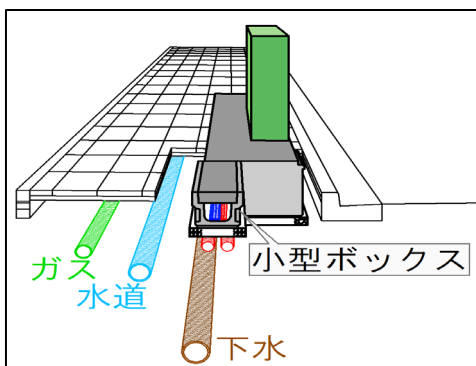
①浅層埋設方式



管路部を浅い位置に埋設する。
(多くの実績有)

○掘削土量の削減
○特殊部の小型化
○支障移設の減少

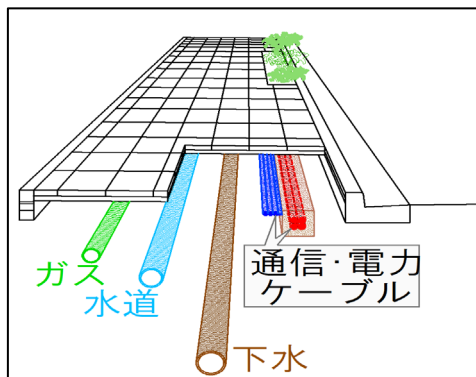
②小型ボックス活用方式



ボックス内に電力線（低圧）と通信線を同時収容する。
(一部で供用中)

○掘削土量、仮設材の削減
○特殊部の小型化
○メンテナンス性の向上

③直接埋設方式



電力線や通信線を直接埋設する。
(試験施工段階)

○掘削土量、特殊部の削減
○支障移設の減少
○工事工程の短縮

近年注目されている整備手法

小型ボックス活用方式は、コスト縮減効果が高いと近年注目されています。

当社が行った試算によると、従来方式と比較して整備コストの

“約2割削減”

が期待できます。



供用中の小型ボックス：新潟県見附市